

## Ⅱ 第2次計画の実施状況

### 1 第2次計画の概要

#### (1) 計画期間

4年間（平成20年度～23年度）

#### (2) 計画目標

- ア 患者サービスの向上
- イ 良質な医療サービスの安定的提供
- ウ 経営基盤の確立

#### (3) 収支計画

全体収支を、平成18年度の△19億円から、平成23年度に△4.6億円まで改善することを目指しています。

### 2 達成状況

#### (1) 各施策の実施状況（詳細は巻末資料参照）

##### ア 患者サービスの向上

患者・県民への情報の提供として公開講座の開催による医学情報等の提供、利用者に配慮した病院運営として後発医薬品の利用促進による患者負担の軽減等に努める一方、外来待ち時間については、患者満足度が低い結果となりました。

##### イ 良質な医療サービスの安定的提供

医療の質の向上としてクリニカルパスの充実、安全な医療の提供として医療事故防止対策の充実、人材の育成確保とし育児短時間制度の導入による医療技術者の勤務環境の改善等に努めました。

##### ウ 経営基盤の確立

収入の確保として全病院にクレジットカード導入による未収金対策の強化、費用の削減として薬品・診療材料の共同購入による材料費の削減、医療機器の機種選定における複数機種選定等に取り組みました。

#### (2) 収支計画の達成状況

平成22年度の収支実績は、計画値より21億円余り改善しました。

この主な要因は、医業収益では、患者数の増加や診療報酬のプラス改定の効果により、がんセンターで10億円、こども病院で8億円、佐原病院で4億円、それぞれ計画値を上回ることにより、全体で18億円上回り、また、医業外収益でも、高度医療の充実等により、一般会計繰入金が増加するなど、計画値を10億円上回り、収益合計では28億円上回りました。

これに対して、費用では、委託内容の見直しや薬品の共同購入など、費用の節減に努めた結果、医業費用の伸びを計画値に比べて6億円の増加にとどめることができたことによるものです。

また、平成23年度の決算でも、6億2千万円の黒字を見込んでおり、これにより、計画期間中のすべての年度において、収支の目標数値を達成することになります。

単位：百万円

区分 \ 年度	20		21		22		23	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	見込※
収益 (A)	36,830	36,704	38,335	38,460	38,647	41,448	39,637	42,865
医業収益 (a)	27,310	27,049	28,491	28,304	28,839	30,628	29,430	31,873
医業外収益	9,520	9,655	9,844	10,157	9,808	10,821	10,207	10,992
費用 (B)	38,767	37,945	40,056	39,232	39,665	40,316	40,092	42,245
医業費用 (b)	37,747	36,839	39,012	38,160	38,665	39,281	39,101	41,215
医業外費用	1,020	1,107	1,043	1,071	1,000	1,035	991	997
特別損失								33
収支 (A)-(B)	△1,937	△1,242	△1,721	△771	△1,018	1,132	△455	619
医業収支 (a)-(b)	△10,437	△9,790	△10,521	△9,856	△9,826	△8,653	△9,671	△9,343

※平成23年度の「見込」は、平成24年2月時点の決算見込み

### 3 次期計画への継続

第2次計画の実績と成果を踏まえ、引き続き県立病院の役割を担うとともに、経営の安定に向けた取り組みを実施していくための指針となる計画としてまいります。